

地域教育懇談会だより

橘地区「地域教育懇談会」を開催しました

橘地区「地域教育懇談会」を12月18日(木)午後6時30分から橘地域公民館で開催しました。郡山第三中学校、橘小学校、エムポリアムこども園の保護者や教職員、地域の皆様など、約40名の参加がありました。

前半は、早崎保夫教育長のあいさつに続き、教育委員会事務局職員が、本市の教育施策について説明しました。

後半は小・中学校教員の司会のもと、学校・地域・教育委員会による熱心なグループ協議が行われました。

グループ協議

後半のグループ協議では、地区内の小・中学校を代表して、郡山第三中学校長から小・中学校の現状・課題について話していただいた後、3つのテーマ毎にグループに分かれて、様々な立場、視点からの活発な意見交換が行われました。

グループ協議のテーマ

【郡山三中 小林校長より話題提供】

- 学校における特色的な活動 (A・B グループ)
- 児童生徒の安全な登下校 (C グループ)
- 学力向上における小中連携教育 (D・E グループ)

各課、各センターにおける教育施策の説明

学校教育推進課

1人1台タブレット端末を活用した授業の推進、郷土愛を育む教育や自他の生命(いのち)を大切にする教育の充実、「安心・安全」に向けた地域との連携等

学校管理課

体力向上のための学校体育の充実、コミュニティ・スクール、働き方改革、部活動等の在り方に関する指針、部活動の地域展開等

教育研修センター

教職員研修の推進、ICTを活用できる環境の充実、オンライン学習教材の活用、情報モラル教育の充実等

総合教育支援センター

不登校児童生徒への支援、心身の健康状態を可視化するツールの活用、いじめ問題や虐待等の対応に向けた体制の整備等



地域の皆様から御意見をたくさんいただきました！

<A・B グループ>

- ・郡山三中では女子バスケットボール、陸上競技、橘小では合奏で全国大会に出場するなど、素晴らしい成績を収めており、活動が盛んである。
- ・部活動の地域展開で、学校の垣根を越えた取組が予想される中、これまでのレベルの高い活動が継続できるかが課題である。
- ・部活動を地域展開する上で、活動場所の確保が課題である。
- ・音楽活動は、施設や楽器をどのように確保するかが課題になるのではないか。
- ・1つの学校では団体スポーツのチームを組めなくなっているため、学校と地域が連携し、地域として活動を盛り上げていく必要がある。

<C グループ>

- ・旗当番や地域の方の見守りのおかげで、児童生徒が安全に登校できている。地域の協力にとても感謝している。
- ・地域の方が挨拶をすると、ほとんどの子どもは元気に挨拶をすることができるが、中には挨拶ができない子どももいる。学校としても、挨拶について継続して指導していきたい。
- ・地域で見守ってくれる人がいるということを、児童生徒に伝えていきたい。
- ・通学路安全点検が重要であるが、点検後に対応した箇所については、地域の方々に対しても回答がほしい。
- 対応箇所については、郡山市のHPに対応を掲載しておりますので、ご覧ください。

<D・E グループ>

- ・家庭では、幼い頃から、子どもも保護者もスマホに夢中になっていることから、読書の習慣が身に付いていないのではないか。
- ・塾や部活動などで子どもたちが忙しく、家庭での会話が少なくなっている現状があり、保護者の教育力の低下が懸念される。
- ・ICTが個別最適な学びに有効である一方、正しい使い方を大人が教える必要がある。
- ・テストの点数だけでなく、忍耐力や課題を見つける力等、目に見えない力の習得も大切なのではないか。
- ・公民館を学習の場として開放していくことがありがたい。



グループ協議では、貴重な御意見をたくさんいただきました。今回の地域教育懇談会がきっかけとなり、学校・家庭・地域の連携がますます図られますよう、今後も御協力をよろしくお願いいたします。